

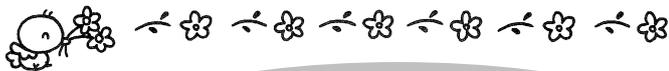
ひと ひと
女と男グッドパートナー

つうしん
いきいき通信



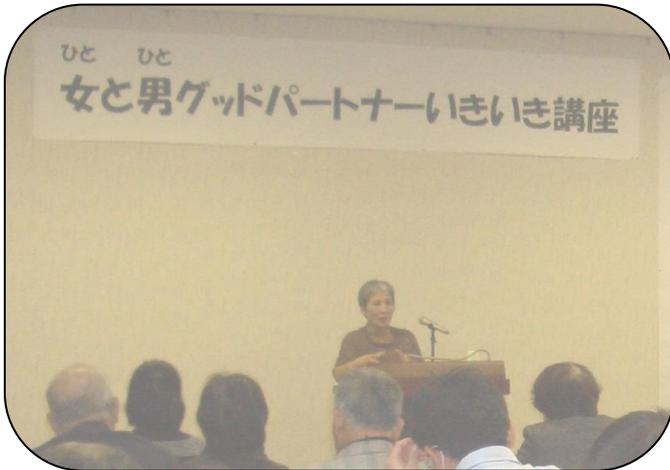
湖南省男女共同参画リポーター・湖南省人権政策課

ひと ひと
「女と男グッドパートナーいきいき講座」を開催しました！！



1回目 テーマ
「子どものしつけは親がする
親のしつけは誰がする？」 →

日時 平成 22 年 10 月 17 日(日)午前 10 時～
場所 サンライフ甲西
講師 永井由美子さん (大阪府島本町教育委員)



← 2回目 テーマ
「誰もが自分らしく生きるために」

日時 平成 22 年 11 月 27 日(土)午後 1 時 30 分～
場所 石部文化総合センター 2 階 会議室
講師 早田リツ子さん (女性史研究家)



「G-NETしがフェスタ2010」

日時 平成 22 年 11 月 14 日(日) 午前 9 時 15 分～午後 4 時
場所 滋賀県立男女共同参画センター“G-NETしが”

男女共同参画リポーターの「^{ひと}女と^{ひと}男グッドパートナーいきいき講座」と
「G-NETしが」フェスタ 2010」に参加しての感想を紹介いたします。

^{ひと}女と^{ひと}男グッドパートナーいきいき講座(1回目)

「子どものしつけは親がする

親のしつけは誰がする？」 講師 永井 由美子さん(大阪府島本町教育委員)



共働きの人が講座を受けようとした時のことを考えて日曜日に設定したところ、3組ものカップルがベビーカーを押して参加してくれました。

先生の開口一番、自分の小・中学校の通知簿を見せながら、成績が中以下であったこと、遊び中心の日々であったことを話されました。全員が「ほんまー」という反応を示しながら話にのめり込んでいきました。

世界40ヶ国を訪問され、子育ての違い、そして、貧困ゆえの知恵、したたかさ、生きる力を身につけていく過程等について話されました。又、男女平等などに関しても小さい時からの勉強や周りのしぐさや態度で学んでいくものであると教えられました。

日本では、虐待がクローズアップされていますが、虐待はもっての外だと力説されていました。一人ひとりと目の高さを同じにして「あなた

はどう思うの?」「自分がされてどんな気持ち?」など、子どもによくわかるように話すこと、最後には、「誇らしい子だと思う」など子どもを愛している態度、言葉が大切だと話されました。

また、最良のしつけとは、家庭の中に元気で明るい大人の笑顔があること、家族のため、地域のため、子どもといっしょに身体を動かし汗を流すことが大切であると話されました。

最後に、日常において大切なことは、正しい日本語のできる日本人であることを強調されていました。通知簿、写真を交えての講座に受講者は、自分の家族を思い浮かべながら学ぶことができ、充実した一時であったと思われま



レジュメから



^{ひと}女と^{ひと}男グッドパートナーいきいき講座(2回目)

「誰もが自分らしく生きるために」 講師 早田リツ子さん(女性史研究家)

今は個人が大切にされ、男女ともに自己追求ができる社会の
はずです。

これまで女性は「家の中で自分らしさが発揮できる時代」から、戦後の社会参加から、今や「社会を担う大切な存在」となりましたが、まだ女性という看板がはずせていないように思います。また、自分らしさにこだわり過ぎ、自分の思い通りに生きることのみを追求しすぎる人、自分らしさに悩まされる人もいるように思いました。

話題にされた二女性、詩の中で自己表現した“みすず”と抵抗することで自己実現した“ふみこ”の話は印象的でした。自分らしく生きるために戦った女性を今さらながら思いました。

時代と共に変化しつつも、生きることを難しくする様々な問題は「意識」と「法」と「制度の進化」によって減少し、生きやすい社会を創ることができると思います。特に個人の意識改革が重要なことを、身近な生活の中での出来事で反省させられた思いです。男性も女性も、性にとらわれないで生きたいものです。

最後に私達の望む社会を、参加者のメモを読み上げ、共有することで明るい展望を持つことができ、次世代につながる意義のある時間でした。自分らしく生きることで社会を変えていく原動力と誰もがなれるような未来志向にさせていただきました。



「100の理論より1つの実践を」

滋賀県立男女共同参画センター

石河 美千子 所長

去る11月14日、「たのしく三世代交流」をテーマに、“G-NETしが”フェスタ2010を盛大に開催することができました。その中でも、ひときわ熱い思いをもった湖南市の男女共同参画リポーターさん方が、朝早くからカメラ片手にフェスタ風景の撮影や、市民目線の取材など先進的な取組みをされ、主催者として大変うれしく思います。



「三世代交流」には、誰でも参加できる親しみやすさというイメージの他にも、世代間で見られる意識の違いを少しでも埋めたいという願いを込めていましたが、フェスタに来所いただいた皆様方による相互交流は、男女共同参画を考えるよい機会になったものと思っています。

県が策定中の第3次基本計画の中にも盛り込まれていますが、県センターは、今まで以上に市町との連携を大切に、それぞれの地域の実情に応じた男女共同参画のまちづくりが少しでも進むよう、支援していきたいと考えています。

「100の理論より1つの小さな実践」が社会を変える原動力になります。湖南市民の皆様一人ひとりの実践に、大いに期待したいと思います。



“G-NETしが”フェスタ2010に参加して

滋賀県立男女共同参画センターを会場に発表、展示、講演、体験、研修会など、盛り沢山の内容でフェスタが開催されました。

11月は児童虐待防止推進月間であり、オレンジリボンキャンペーンが行われていました。そこで「子どもの虐待を防止するために」と題して、子どもの虐待防止ネットワーク・しが（略称キャプネス）が担当する研修会に参加しました。



模擬店



ワークショップ

八幡高校の生徒たちも交えた十数人のグループでしたが、「これって虐待？アンケート」（虐待の認識調査）の結果を見ながら、話し合いをしました。その話の中から近所の子どもをよく知っていますか？では“知っている”が20%で、“知らない”が80%。また、虐待を知ったら通知するか？では、“通知する”が10%で“多分する”が50%、残りは“しない”と担当者が話され、参加者からは「他人の家の中へ入り込めない」とか、「勇気をもって一歩がなかなか踏み出せない」という意見がありました。

滋賀県子ども家庭相談センターにおける児童虐待相談件数（平成21年度）は、745件で、市町への相談件数との合計は、2,802件ということ。また、虐待種別では滋賀県はネグレクトが一番多いことも聞きました。

私たちは子どもを虐待から守るために、子どもの命と安全を最優先に考え、「おかしい」と感じたら、警察、児童相談所、市の相談窓口へ連絡することが大切であることを痛感しました。



おもちゃのプレントコーナー

「G-NETしが」フェスタ2010に参加しました！

「たのしく三世代交流」のテーマのもと今年も県下各地から集いを楽しむ仲間が集まりました。「ベビーからシニアまで楽しく健康体操」の輪の中に入ってみました。「大きな呼吸を意識してみましよう……」とのインストラクターの声にあわせて普段使っていない筋肉のストレッチをしました。体が硬くなっているために苦痛を感じることもありました。徐々に慣れてくると心地よい汗が体に伝わってきました。ヨガを少し取り入れた体操に興じていると、体が軽くなったような気分になりました。



なごやかな雰囲気
で
体操

親子で
いちに!



男女共同参画リポーターとは……

男女共同参画リポーターは、地域に根ざした男女共同参画のまちづくりを進めるために設置されています。任期は一年。市内に在住か在勤されている20歳以上の人で、男女共同参画社会について興味を持ち意欲的に活動できる人なら、どなたでも歓迎です。

一年の活動内容は最初の会議で考えますが、これまで「男女共同参画社会を考える市民のつどい」や「いきいき講座」を開催してきました。

また、新聞の「いきいき通信」については毎年、発行していますので、取材にも行っていただいています。

毎年、4月から5月頃に募集していますので、何か活動してみたいという人も、男女共同参画はよくわからないという人も、ぜひご応募ください。募集については、広報「こなん」や市のホームページなどでお知らせします。



女と男グッドパートナー
いきいき通信 Vol. 6

■発行 平成23年2月

■編集 湖南省男女共同参画リポーター
(植村恵子、川奈部洋子
西村眞喜子、廣井美子、森富裕子)
湖南省人権政策課

■連絡先 〒520-3288
湖南省中央一丁目一番地
TEL (71) 2354
FAX (72) 2201
Eメール jinsai@city.konan.shiga.jp
湖南省人権政策課

あ
と
が
き

平成22年度 年間活動内容

7月27日 第1回会議…いきいき講座の概要

8月17日 第2回会議…開催日の決定、アンケートの内容検討

9月17日 第3回会議…参加体制、当日の時間配分・役割分担

10月17日 いきいき講座「1回目」

11月14日 「G-NETしが」フェスタ2010への参加

11月27日 いきいき講座「2回目」

※「いきいき通信」の作成
(2月区配布)

